

留学先大学：BESIGN The Sustainable Design School 大学

氏名：篠田泰成

今月はフランスで体感する日本文化というテーマで進めたいと思います。

フランスにおける日本文化は大変人気のあるコンテンツであり、多くの人が日本の何かしらを好きでいることが多いです。以下に私が体験した例の一部を紹介します。

#### 【アニメ】

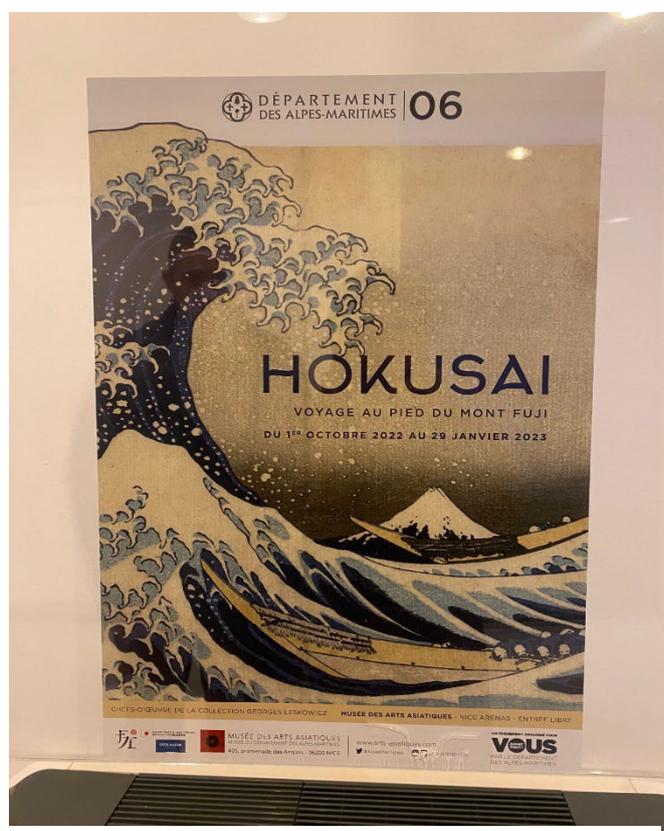
日本といえば漫画、アニメ。この認識は我々日本人だけではなく、やはり世界共通の認識であります。すこし繁華街を歩けば、アニメショップのようなお店を見つけることができます。中には日本の漫画や任天堂等のゲーム作品、フィギュアやグッズなどが所狭しと並んであり、フランス語表記のほかに日本語表記もあります。大きなチェーン店ですので、路面店に限らず、ほとんどのショッピングモールで見ることができます。また、アパレルブランドと日本のアニメのコラボ商品を見つけたこともあります。友達のスマホ画面がアニメだったり、日本のアニメのセリフを自慢げに披露してくれたりすることもあります。

#### 【日本食】

お寿司とラーメンが人気です。お寿司は外で食べられる場所が多く、これもまた大きなチェーン店があります。お米が少し柔らかい気がしましたが、日本の味とそこまで大差があるようには感じませんでした。現地のにも人気があるようで、少し割高なのにも関わらず多くの方が行列を成しています。近所のスーパーにはお寿司コーナーがあり、パックでお寿司や海鮮丼が売られています。また、ラーメンは店舗数こそ少ないですが、確かな醤油ラーメンを味わうことができます。中には日本人のスタッフさんがいたり、非常に楽しい体験ができます。

#### 【芸術・デザイン】

日本の人気は、大衆文化的な側面にとどまりません。写真でもあるように、葛飾北斎は企画展が行われるほど人気で、あの有名な富嶽三十六



↑ HOKUSAI 展のポスター

景の神奈川冲浪裏がカバンや T シャツにプリントされたものを街中で目にするのもちらほら。インダストリアルで言えば倉俣史朗、建築で言えば隈研吾というように、世界的に有名なデザイナー、建築家の名前は授業でも時より耳にすることがあります。

また日本といえばスタジオジブリという人もいます。千と千尋の神隠し、トトロなどは多くの人を知っており、ジブリ模様の筆記用具やカバンなどが特に人気です。

そんな日本文化に興味がある現地の方は、必ずと言っていいほど私たち日本人に質問してくれます。

これは何でできているのか？ どうやってつくるのか？  
どのような背景があるのか？ 場所はどこなのか？ どうして有名なのか？ 日本では一般的なのか？ などなど。

とまらない質問に冷や汗をかくこともしばしばですが、それほど日本に興味を持ってきていることに対して素直に嬉しく思います。

もし今後海外進出を予定している方がいれば、そのような質問にできるだけ答えられるように準備しておくことをおすすめします。日本文化の背景の知識を持っておくと、それはどこかで必ずコミュニケーションの助けになります。

多国籍の人と初対面の時は、大抵言語の話か、文化の話になります。また、当然それらの会話は、片方がもう片方に知識を教えるという構成で行われるため、自国のことを説明できることが前提というわけです。食べ物、芸術、音楽など様々なトピックがありますが、少しでも日本のことを相手に共有できるように、あるいは相手にもっと日本のことを好きになってもらえるように、自国プレゼンの練習をしてみたいはいかがですか？ これらも全ておもてなしの考えです。

日本文化を振り返るいい機会かもしれませんね。

→ニース駅に展示された日本の漫画家の作品



↑ミス・ブランチ（本物）

